

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2019年6月①号

福島原発 前に立つ (上)

5月10日、日本共産党福島県議団が毎年調査している「福島原発現地調査」に同行させていただきました。

まず、**東京電力廃炉資料館**で説明を受けました。もともとは福島第2原発のPR施設として建設されたものですが、廃炉に向けての東京電力をアピールする施設となっていました。原発について「反省から出発する」安全についても「おごりだった」というDVDを観ました。違和感を感じたのは、廃炉に取り組む職員の紹介などはたくさんありましたが、原発事故により、被害を受け、苦しむ住民の姿や声は紹介されていませんでした。

原発施設構内は約100万㎡（横2.5km、縦1km）。95%がフェーシング（表面をコンクリート）することにより、原発施設内の放射線量は随分と低下し、働く労働者の装備も軽装になってきていました。視察団も防護服は着用せずに構内をバスで回り、10分ほどは1号機から4号機の建屋の前50mにある高台から見学しました。

作業員は約1日4,000人が働いています。基本は午前中に働く。これまで、原発施設で働いた作業員の健康状況は把握するようになってきているが、数人は追跡してもわからなかったと。**1,000本あった桜の木はほとんど伐採**され、汚染水の貯蔵用1000トンのタンクが約1000機やコンクリートボックス（汚染水処理で使用されたフィルターを保管する）などが作られている。（次号につづく）



右手にあるのが福島原発1号機。撤去に相当な時間を要している。左から2人目が玉本なるみ市議

世界禁煙デーin京都に参加しました。

産業医科大学教授大和浩先生の講演に、受動喫煙対策にやる気がフツフツと湧いてきました。

先生自身が「タバコ対策依存症」と自称されていましたが、徹底した受動喫煙の実態調査を行い、粘り強くアプローチをされ、沢山の実績を創って来られました。

○ 長崎大学を全面禁煙に導き、なんと喫煙者は採用しないということまで、実践している。このことは合法であることを弁護士さんにも確認済みだそうです。

○ 奈良県庁や生駒市役所では、タバコを吸った人は45分間はエレベーター使用禁止にしているとのこと。...

○ 精神科病院にも調査に出かけられ、喫煙ルームから漏れる煙の影響も調査。境目のデイルームへの影響を証明し、病院を全面禁煙に。受動喫煙を防止すると共に、禁煙者も増やし、みんなを健康にしているのも素晴らしい。

昨日、京都に来られて、さっそく、京都駅や市役所なども調査されてました。自民党タバコ議連の議員達や分かっていない議員達も痛烈に非難。

京都市からも副市長や担当の職員も参加してましたが、大和先生の講演を聴いてどこまで、京都市で対策を進めようとしているか追及していきたいと思います。



会場の京都女子大のゆるキャラ「京のちゃん」と左は「タバコマン」、学生さん達が、踊ったりクイズをしたり盛り上げてくれました。

日本には守られるべき憲法25条があります。健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とされてきた権利を「守られたい」ということでは、藤田孝典さん（聖学院大学人間福祉学部客員教授）の講演で、藤田さん（憲法25条は役所が勝手に守ってくれない、声をあげない権利要求の貧困問題が社会問題になっていく、それは親の所得の低さによる問題であり、母子家庭やワーキングプアの問題の解決なしに子どもの貧困も解決しない）という問題で「ふつり、8時間働けば、ふつりという暮らしを望む日本共産党のくらしです。希望を持つの3つの提案の1つは、社会保険の充実、3つ目はお金の心配なく、学び、子育てができる社会をつくること。この3つを実現するためには消費税をあげるのではなく、大企業や大金持ちへの優遇減税を中小業者なみにする。算などを廃止することです。現予算など案を進めていきます。実現できることを前に進めたい。7月の参議院選挙です。頑張りましょう！

憲法25条を守ろう

アンテナ

